

推薦の言葉①

“ポーカー侍”。この名を初めて目にしたのは、2004年のことだったと思う。いまでこそ「ポーカーブログ」は玉石混交の状態で相当数あるが、当時ほとんど見られなかった中に突然現れた「ポーカー侍のブログ」。ポーカーがゆくゆくは“メシの種になる”と考えていた私は、そこに日々新たに提言される戦略などを貪り読んで覚えがある。

その翌年、2005年のWSOP（ワールドシリーズオブポーカー）メインイベントで快進撃を見せてくれた“ポーカー侍”。ラストハンドは、98%の優位な状況でのオールインとなったが、前年のチャンピオンであるグレッグ・レイマーに凄まじいバッドビートを食らい、110位で敗退。だが、当時小さかった日本のポーカーコミュニティは、日々沸きに沸き（そこまでに都合10日かかっていた）、日本人でも世界に伍して戦えるんだということを身をもって示していただいた。なお現在も彼の記録は、日本人のベストリザルトである。

現在は、トーナメントプレイヤーとしては一線から退かれたが、ポーカーというゲームの日本における普及に力を注ぎ続けている。

この度刊行された『ポーカー教室』も、彼の“ポーカーの面白さ、奥の深さ”を多くの日本人に伝えたいという思いが強く伝わってくる。初心者・初級者向きに書いたとうかがったが、“ゲームそのものに勝つことを目的としていない”“フォールド（降りる）という判断はとても重要”などの言葉に、いまでこそポーカーにどっぷり浸かって勝負している私も、改めて刮目させられた次第である。

やはり、この人の言葉にはいつも新たな発見がある！

Motoyuki Mabuchi

Motoyuki Mabuchi a.k.a."MOTO"

ラスベガス在住。2010年8月現在、日本人のポーカートーナメント生涯獲得賞金ランク1位（ヘンドンモブ調べ）。2007年4月にラスベガスベラッジオホテルで開催されたWPTファイブスター1500ドルイベントでメジャートーナメント初優勝。日本人初のプレスレットホルダーとなる。